



北公かわら版

2025.9.5
Vol.35



見やすいカラー版
バックナンバーはこちらから→

発行：北谷公民館
電話：0258-63-2346

住所：新潟県見附市名木野町5320
メール：kitakou@city.mitsuke.niigata.jp

第41回 北谷地区芸能発表会

9.28（日） 13：30開演
北谷公民館2階 大集会室

北谷地区の秋の催事として、公民館で活動している
サークルの成果を発表する「芸能発表会」。
是非、多くの方にご観覧いただきたいと思います。

～紙ねんどアートに挑戦しよう～

かわいい紙ねんどアートに挑戦してみましょう！
保育園のスタッフが講師を務めるので、小さなお子様連れ
でも、安心してご参加いただけます。



申込、
詳細は
こちらから→



問い合わせ：中央公民館
TEL：62-1058

～北公 Cafe Time～

Vol.13



今年は梅雨らしい雨も夕立もなく猛暑が続きますが、みなさんお元気でお過ごしでしょうか。

ふっと笑顔になれるようなお話を届けていきたいと思いますので、コーヒーでも飲みながらお読みくださいませ。

これだけ気候変動が大きいと、自然を相手にする稲作、畑、漁業は、対応がとても大変です。未来では、科学技術の発展でどのように克服していくのでしょうか。

21XX年のある日、人類が遠い宇宙の星に移住するには、宇宙船内で食糧自給しなければいけない事情と、地上での食料栽培は克服しきれない自然災害があるため、地球を回る軌道上の宇宙船内で様々な野菜や人工たんぱく質が生産されるようになりました。

既に、数千機の食料栽培宇宙船が相互に衝突しないように制御され、太陽光を浴びながら植物は育ち太陽光パネルも効率よく発電し、タンク内の水素と酸素で食糧栽培や培養に必要な水が供給されています。宇宙栽培野菜も培養たんぱく質も、地球に住む人々は日常的にスーパーで購入できるようになりました。なぜか宇宙野菜も培養たんぱくも、食べても太らないという噂が出回り始めました。正確には、食べ過ぎれば当たり前のように太ってきますが、体重が増えずに減ると言った方が正しいでしょう。

各国の生物学者や政府関係者も、宇宙栽培食に何か有害物質でも含んでいるのではと研究を始めましたが、何も検出されませんでした。世間では、毎日体重が減少し続けると喜んで、日に何回も体重測定する人が増えてきました。

しかし、ある物理学者が何やら信じがたい仮説を唱え始めました。地球上の物質を使って、宇宙船がつくられて何千機も飛び回り、そこに搭載する燃料や肥料のすべてが地球から宇宙に持ち出されたという事は、地球の質量が減少し重力も小さくなり体重が減少するが、はてな、その後には？

いつものように、体重計に乗っていると、ものすごい爆音や破壊音が響き渡ります。寿命が尽きて老朽化した宇宙船が数限りなく地上に降り注いできます。

おやどうしたことでしょう、減り続けていた体重が瞬く間に増えるではないですか。

体重計が壊れたかな、外が静かになったら新しい体重計を買いに行かねば。

きっと、体重はもっと減っているはずですから。